

たちばな医療専門学校評価(自己評価・学校関係者評価)に係る評価項目

令和元年度

評価者5名の総合評価

大項目	中項目	評価項目 評価目標	自己評価					学校関係者評価				
			5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 教育理念	1)学校の教育理念・目標の設定	(1)教育理念を明文化している	○					5	○			5
		(2)学校独自の教育理念をもっている	○					5	○			5
		(3)教育理念・目的は人材育成の内容と一致している	○					5	○			5
教育目標	2)教育理念・目標の達成	(4)教職員は教育理念・目標について認識し共有している	○					5	○			5
		(5)教職員は教育理念・目標に向けて努力している	○					5	○			5
		(6)教育理念・目標は学校に浸透している		○				4	○			4
教育目標	3)教育理念・目標の点検・見直し	(7)教育理念・目標と教育課程の考え方が一貫している	○					5	○			5
		(8)社会変化、ニーズに対応して見直している		○				4	○			4
		(9)教育理念・目標は年1回見直している		○				4	○			4
4)学校の将来構想の明文化	(10)学校の将来構想は示されている			○				3		○		3
	(11)学校の将来構想について組織的に取り組む体制が整えられる			○				3		○		3
2 学生の受け入れ	1)学生募集の方法	(12)学校の教育理念・目標を反映した学生募集方針を定めている	○					5	○			5
		(13)入学定員を明示している	○					5	○			5
		(14)入試制度は明記している	○					5	○			5
	2)入学選抜方法	(15)入学選抜の方法は明示している	○					5	○			5
		(16)合格基準は明確にしている		○				3		○		3
	3)学生の募集の広報	(17)転・編入学の方法・基準を明文化している		○				3		○		3
		(18)学生の募集要項を作成し、看護の情報を提供している	○					5	○			5
	4)学生定員の質量的充足状態	(19)志願者が関心をもつように工夫されている	○					5	○			5
		(20)在学生は定員の90%以上を満たしている		○				2		○		2
		(21)入学試験の応募状況は定員の3倍以上である			○			1			○	1
		(22)合格からの入学率は50%以上である	○					5	○			5
		(23)入学試験委員会が定期的に開催される		○				3		○		3
5)学生募集に関する分析・評価体制	(24)志願者、合格者、入学者などの推移とその評価がなされている			○				3		○		3
	(25)選抜方法と学生の状況について検討している			○				3		○		3

*評価については、5. 4. 3. 2. 1の段階評価を実施することを標準とする。その目安は以下の通りとする。

5:十分に達している(90%以上)

4:おおむね達成している(70%以上～90%未満)

3:やや達成している(50%～70%未満)

2:どちらかといふと達成されていない(20%以上～50%未満)

1:ほとんど達成されていない状態(20%未満)

たちばな医療専門学校評価(自己評価・学校関係者評価)に係る評価項目

令和元年度

大項目	中項目	評価項目 評価目標	自己評価					学校関係者評価					
			5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
3 学 生 生 活 へ の 支 援	1)健康管理	(26)定期的に健康診断を実施している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>				5
		(27)学生が日常生活の健康管理ができるように指導している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>				5
		(28)臨地実習での感染防止の対策をとっている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>				5
		(29)健康記録は的確に記載し、活用している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>				5
	2)学生相談・進路 相談の設置と対応	(30)学生相談の窓口を設けていることを学生に周知している		<input type="radio"/>				4	<input type="radio"/>				4
		(31)学生相談の内容によって窓口(担当)を決めている		<input type="radio"/>				4	<input type="radio"/>				4
		(32)プライバシーが保持されるシステムができている		<input type="radio"/>				5	<input type="radio"/>				5
		(33)学生相談の専任のカウンセラーをおいている				<input type="radio"/>	1				<input type="radio"/>		1
	3)課外活動・ボラン ティアの支援体制	(34)課外活動の場所を提供している											
		(35)課外活動の活動費用の支援体制がある											
		(36)課外活動の講師または指導者について助言できている											
		(37)ボランティア活動の支援体制ができている(情報提供など)											
	4)自治活動支援	(38)学生自治活動室(含兼用)がある											
		(39)学生の自治活動が円滑にいくために助言・指導をしている											
		(40)他校との交流の機会をもっている											
4 教 育 課 程	(5)福利厚生 (奨学金制度) (学生寄宿舎) (傷害保険)	(41)奨学金制度について学生に周知している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>				5
		(42)学則の中で授業料減免制度について学生に説明している											
		(43)学生寄宿舎を有し、管理責任者をおいている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>				5
		(44)学生寄宿舎の運営は、学生が自主的に行っている											
		(45)学生は傷害保険に加入している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>				5
		(46)教育理念・目標にあった科目を設定をしている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>				5
	1)カリキュラムの 立案	(47)科目設定には学校の特色を盛り込んでいる	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>				5
		(48)科目設定には学習者、社会のニードを考慮している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>				5
		(49)科目の一般目標・行動目標は明確に設定している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>				5
		(50)指定規則に合致した科目と単位・時間を設定している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>				5
	2)カリキュラムの 効果的編成	(51)教育理念・目標にあった順序性で配列をしている		<input type="radio"/>				3		<input type="radio"/>			3
		(52)科目の位置づけと科目間の関連性を明示している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>				5
		(53)臨地実習目標は明確で、効果的に計画されている	<input type="radio"/>					4	<input type="radio"/>				4
	3)カリキュラム の点検・見直し	(54)カリキュラムの見直しは定期的(年1回)に行ってい	<input type="radio"/>					4	<input type="radio"/>				4
		(55)臨地実習の計画・実践指導は効果的であるか定期的に見直している	<input type="radio"/>					4	<input type="radio"/>				4
		(56)カリキュラムの見直しは学生・講師・教員の意見を反映している		<input type="radio"/>				3		<input type="radio"/>			3

たしばな医療専門学校評価(自己評価・学校関係者評価)に係る評価項目

令和元年度

大項目	中項目	評価項目 評価目標	自己評価					学校関係者評価				
			5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 教 育 活 動 ・ 教 育 指 導 の あ り 方	1)学習支援 (ガイダンス)	(57)年度はじめにカリキュラムガイドを行っている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			
		(58)学生便覧は内容・構成が工夫して作成され、学生が活用している		<input type="radio"/>				4	<input type="radio"/>			4
		(59)シラバスが作成され活用について学生に説明している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(60)1クラスの学生数は30人以下の編成である	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
	2)授業の計画的 遂行・調整	(61)授業計画に基づいて授業は実施している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(62)時間割の進度は、授業計画通りに行われている		<input type="radio"/>				4	<input type="radio"/>			4
		(63)科目ごとの授業内容を調整し担当者へ周知している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
	3)授業科目的 担当・時間	(64)科目を担当する教員(専任・非常勤)は専門分野について 専門家が担当している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(65)教員1人当たりの週授業時間数は15時間以内である	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(66)教員の実習時間担当数は3時間に1時間程度 の準備時間が見込まれている		<input type="radio"/>			3		<input type="radio"/>			3
		(67)教員間の講義・実習担当時間の配分はほぼ均等である		<input type="radio"/>			3		<input type="radio"/>			3
	4)教育方法	(68)授業内容は精選され、学生のレディネスにそって構成されている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(69)学生が自主的に考え、学習することが可能な授業形態 が導入されている(小人数教育・ゼミ)など		<input type="radio"/>				4	<input type="radio"/>			4
		(70)視聴覚教育機器・教材の質と量は十分で、 効果的に活用されている		<input type="radio"/>				4	<input type="radio"/>			4
		(71)効果的な教育方法について、検討の場をもっている		<input type="radio"/>				4	<input type="radio"/>			4
	5)授業評価	(72)教育において日常的に教材研究を行っている		<input type="radio"/>				4	<input type="radio"/>			4
		(73)教員は授業終了時に、学生による評価を実施している		<input type="radio"/>				4	<input type="radio"/>			4
		(74)学生による評価は評価表を作成している		<input type="radio"/>				4	<input type="radio"/>			4
	単位認定	(75)教員自身による自己評価を実施している		<input type="radio"/>				4	<input type="radio"/>			4
		(76)評価の方法は試験・出席・学習状況・レポートにより行われている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(77)授業科目毎に評価者と単位認定者を明確にしている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(78)追試験・再試験・単位未修得者の評価基準を明確にしている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(79)留年の基準を示し適用している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
	7)単位互換	(80)履修認定会議・進級判定会議は定期的に開催している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(81)大学・短大・専修学校への単位互換が可能な科目設定である	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(82)大学(短大)卒の入学生に単位の認定制をとっている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5

たちばな医療専門学校評価(自己評価・学校関係者評価)に係る評価項目

令和元年度

大項目	中項目	評価項目 評価目標	自己評価					学校関係者評価					
			5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
6 実習環境	1)実習施設の要件	(83)実習施設は実習場としての施設設備が整っている (カンファレンス、更衣室など)	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5	
		(84)実習施設は実習に必要な図書が整備されている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5	
		(85)実習施設は基礎的看護に必要な看護用具が整備されている		<input type="radio"/>				4		<input type="radio"/>		4	
		(86)実習施設は看護基準、看護手順を作成し活用している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5	
		(87)1看護単位の実習受け入れは10名以内である	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5	
	2)実習場の開発	(88)実習科目の目標・内容に見合った実習施設を確保している			<input type="radio"/>			3		<input type="radio"/>		3	
		(89)実習施設は実習目的を果たすために適切・妥当であるかを定期的に見直している			<input type="radio"/>			3		<input type="radio"/>		3	
	3)実習指導者の能力開発	(90)実習指導者に対して現任教育を計画している			<input type="radio"/>			3		<input type="radio"/>		3	
		(91)実習指導者は自主的に研究会を実施している			<input type="radio"/>			3		<input type="radio"/>		3	
		(92)指導者は学生の看護ケアに適切にアドバイスできる	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5	
7 研究活動	4)実習指導体制	(93)実習指導者は看護実践の創意工夫に努める姿勢がある	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5	
		(94)実習要項は各領域毎に作成している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5	
		(95)実習指導者会議は定期的に開催している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5	
		(96)実習指導体制が明確にされ、指導者は1看護単位に2名以上配置されている		<input type="radio"/>				4	<input type="radio"/>			4	
		(97)実習指導者は実習要項をもとに、指導計画を立案、実施・評価している		<input type="radio"/>				5	<input type="radio"/>			5	
		(98)実習指導者と教員は、役割分担を明確にして指導している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5	
	1)研修活動の財政整備 2)教員の研究活動 発表	(99)実習評価表は実習指導責任者が作成している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5	
		(100)研修活動への年間予算計画が設定されている		<input type="radio"/>				4		<input type="radio"/>		4	
		(101)教員は専門領域の研究活動に取り組んでいる	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5	
		(102)教員は学会の会員である	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5	
4)研修活動への積極的参加		(103)教員は研究活動の郊外研修を年3回以上確保している		<input type="radio"/>				3		<input type="radio"/>		3	
		(104)教員は臨床ナースと連携や交流をはかり研鑽している	<input type="radio"/>					4	<input type="radio"/>			4	
		(105)教員は研修成果を公表している		<input type="radio"/>				3		<input type="radio"/>		3	
		(106)教員は年1回以上、自主的に研修に参加し、成果を公表している		<input type="radio"/>				3		<input type="radio"/>		3	
		(107)教員は、専門領域の臨地実習、研修を実施している	<input type="radio"/>					4	<input type="radio"/>			4	
		(108)教員が研修に参加できるようにシステム作りをしている	<input type="radio"/>					4	<input type="radio"/>			4	
		(109)教員は対外的に講師としての役割を果たし、活動している		<input type="radio"/>				3		<input type="radio"/>		3	

たちばな医療専門学校評価(自己評価・学校関係者評価)に係る評価項目

令和元年度

中項目	評価項目 評価目標	自己評価					学校関係者評価					
		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
8組織・管理運営	1)学校の組織 関連組織の整備	(110)教員組織、事務組織は責任者が配備され、運営しやすい組織図ができている (111)教員組織と事務組織は適正に連携している (112)教員組織は運営に必要な人数と職種が配置されている (113)事務組織は運営に必要な人数が配置されている (114)各職員が命令系統に沿ってその役割を果たしている (115)教員の人事について副校長・教務主任は意見を具申している (116)教員の将来方針を把握し、助言している	○					5	○			5
	2)講師・実習指導者の要件	(117)講師の資格要件を明示している (118)非常勤講師は資格要件をもとに選考している (119)実習指導者の資格要件は明示している	○				5	○			5	
	3)教員人事の適正配置	(120)教員は看護学の専門領域に配置できている (121)実習調整者は専任で配置されている	○				5	○			5	
	4)職員の職務分掌	(122)職務分掌は作成している (123)校長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている (124)副校长は職務分掌に沿ってその役割を果たしている (125)事務長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている (126)教務主任・教員は職務分掌に沿ってその役割を果たしている (127)事務員は職務分掌に沿ってその役割を果たしている (128)業務内容は効果的な職務遂行ができるよう適宜みなおしている	○				4	○			4	
	5)会議への参加運営	(129)副校长・教務主任は運営委員会会議に出席し、必要時意見を述べている (130)学校運営会議は定期的に開催している (131)教務会議は月2回以上定期的に開催している (132)講師会議は定期的に開催している	○				5	○			5	
	6)学籍の管理	(133)学籍簿は学籍の記録、履修状況が正確に記載され証明機能を備えている (134)学籍簿は保管が適切になされ、秘密が守られている	○				5	○			5	
	7)卒業生の進路	(135)卒業生の90%以上は看護職を選んでいる (136)卒業時点での進路状況が分類整理されている	○				5	○			5	
	8)資格取得	(138)国家試験合格状況は、全国の平均合格率を上回る (139)不合格者の背景、特性を分析し、教育活動に活かしている	○				4	○			4	
			○				4	○			4	

たちばな医療専門学校評価(自己評価・学校関係者評価)に係る評価項目

令和元年度

大項目	中項目	評価項目 評価目標	自己評価					学校関係者評価				
			5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 施 設 設 備	1)校舎の設備と 管理 2)学生支援施設の 整備と管理 休養室 学生相談室 9 男子学生の整備 施 学生ホール 3)図書室の整備 と管理 4)教材の整備と 管理	(140)クラス数に見合った専用の普通教室をもっている	○					5	○			5
		(141)看護学別の実習室を有している	○					5	○			5
		(142)グループ討議等ができる演習室を有している	○					5	○			5
		(143)視聴覚室を有している		○				4	○			4
		(144)情報科学室を有している	○					5	○			5
		(145)専用の図書室を有している	○					5	○			5
		(146)体育館または講堂を有している	○					5	○			5
		(147)校内施設利用規定は作成している(含む体育館)		○				4	○			4
		(148)施設利用規定には学生の自己学習に使用できるように配慮している	○					5	○			5
		(149)専用の休養室がある	○					5	○			5
		(150)学生相談室が設置されている		○				4	○			4
		(151)自習室の整備ができている	○					5	○			5
		(152)男子学生用トイレ、更衣室がある		○				3	○			3
		(153)学生ホールは交流の場として活用している	○					5	○			5
		(154)学生ホールは整備され、憩いの場作りができる		○				3	○			3
		(155)図書及び資料は分野毎、領域毎に分類され整理されている	○					5	○			5
		(156)蔵書数は学生数に見合った十分な冊数である		○				4	○			4
		(157)専門分野は専門領域毎に計画的に増備している	○					5	○			5
		(158)学術雑誌は指定基準以上の種類を有している	○					5	○			5
		(159)視聴覚機器が整備されている		○				3	○			3
		(160)図書と学術雑誌及びビデオ等の整備点検はできている		○				4	○			4
		(161)司書を配置している		○				4	○			4
		(162)学生が利用しやすい時間帯に開館している		○				4	○			4
		(163)新刊図書の紹介をしている		○				4	○			4
		(164)必要な図書増備の予算計画ができている	○					5	○			5
		(165)文献検索のためのインターネットの設備がある	○					5	○			5
		(166)教材教具は定期的に点検を行っている	○					5	○			5
		(167)専門領域毎に教育内容にあった教材を計画的に整備している	○					5	○			5
		(168)器械器具、標本、模型は学生数に見合い十分な数を整備している	○					5	○			5
		(169)ビデオ等、視聴覚教材は自己学習に使用できる		○				4	○			4
		(170)教材購入の経費は年次毎に計画し増備している	○					5	○			5

たちばな医療専門学校評価(自己評価・学校関係者評価)に係る評価項目

令和元年度

大項目	中項目	評価項目 評価目標	自己評価					学校関係者評価				
			5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
社会への貢献	1)地域との連携と 社会への啓蒙 2)近隣関連施設 との連携	(171)看護教育及び看護の情報を公開し、広報活動を行っている	<input type="radio"/>					4	<input type="radio"/>			4
		(172)学校行事は地域性を考慮して教育計画に位置づけている	<input type="radio"/>					4	<input type="radio"/>			4
		(173)地域への働きかけは社会のニーズに応じた内容である	<input type="radio"/>					4	<input type="radio"/>			4
		(174)近隣施設のボランティア活動に積極的に参加している	<input type="radio"/>					4	<input type="radio"/>			4
		(175)社会人及び近隣施設の生涯教育の場として 学校を開放している	<input type="radio"/>					4	<input type="radio"/>			4
		(176)近隣関連施設との情報交換および連携ができている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
11 予算	1)事業計画	(177)学校の事業計画を立てている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(178)事業計画はたちばな会の全体計画の中に位置づけられている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(179)中・長期目標の予算計画が立てられている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
	2)予算の執行	(180)年間の予算計画・執行状況を把握し、必要時修正している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(181)職員は歳入歳出の状況を把握している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
	3)経営意識	(182)職員全員が経営意識をもっている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
12 学校評価	1)自己点検・ 評価体制	(183)職員は歳出削減に向けて努力している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(184)学校自己点検・評価のシステムが作られている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(185)自己点検・評価に必要な基礎データ等の整備がなされている	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(186)自己点検・評価を定期的に実施している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(187)自己点検・評価の結果を公表している	<input type="radio"/>					5	<input type="radio"/>			5
		(188)評価を次年度に生かしている		<input type="radio"/>				4	<input type="radio"/>			4

学校関係者評価者からのご意見

今回学校関係者評価委員会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの件で開催を中止しました。評価委員の方には当校の状況を詳しく説明できない状況での評価となりましたが、学校関係者評価委員会からの貴重なご意見を戴きました。
下記に掲載致します。

たちばな医療専門学校様へ

令和2年4月

学校関係者評価に関して自己評価を拝見しました。
新コロナウイルスの関係上、詳細な説明はなく、貴学内の状況が良く把握できませんので、
感じたことを、述べさせていただきます。

○重点目標とその具体的な計画は？ どんな問題があるのか？
自己評価をして結果を踏まえた上での改善策は？

「知りたいと思ったこと」

- 卒業時の学生の資質はどうか？
貴校の学生の特徴は？ どのような資質の学生が育っているのか？
- 学生は3年間でどう成長しているか？
入学時から卒業するまでの間、どう変化して成長しているのか？
- 学生は臨地実習でどのような事故を起こしているのか？
傾向性として言えることは、どんなことか？
- 入学者の選抜方法・基準の妥当性はどうか？
入学者が減少していく中で、変化していないのか？
- 卒業時の到達状況はどうか？国家試験合格率
目標とする到達度と現状はどうか？ どう改善していくのか？

- 33. 専任のカウンセラーを置けない?
学生の支援はどうしているのか？
- 88・89. 実習施設の適切・妥当性の評価が低いが?
どう対処しているのか？
- 129. 運営委員会で意見を述べていない?
どのように連携を取っているのか？
- 132. 講師会議は開催していない?
どんな対策を取っているのか？

以上です。